

浅間隠山山行報告



【山行日】2018年12月24(月) 晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 6:00
【費 用】マイカー2台 : 2,900円
【メンバー】CL:鈴木ユ、大西、石澤、島田、清水、関、五月女、津佐、鶴見、成田、福島
【コースタイム】岩舟支所 P6:00=はまゆう山荘 7:55/8:05=登山口 P8:25/9:00~尾根 9:20~南峰 10:10~浅間隠山 10:30/10:50~尾根 11:40~登山口P12:00/12:10~はまゆう山荘 12:30/13:45=道の駅「くらぶち小栗の里」14:15/14:30=

卵太郎 14:50/15:05=岩舟支所 P16:30

毎年初級雪山トレーニング山行として計画し、ここ2年ほど雪が無く雪山トレーニングが出来なかった。今年は先週降った雪が融けて凍り、その上にうっすら積雪が有るので駐車場で軽アイゼンを付けてから出発する。登山口で記念写真を撮って登山道に入ったが、凍った登山道にアイゼンが効いて歩き易い。小さな沢の中を進みカラマツ林の中を九十九折れに登り、尾根上に出た所で休憩し衣服調整を行う。尾根を左に進み、少し先の道標を右に曲がって笹原を抜けると自然林の登りになる。自然林の気持ち良い登山道を登り、高度を上げて行くと背後に大きく浅間山が見えるようになる。ところが、天気は晴れているが風が強く、浅間山に雲が掛かり秀麗な姿は見られない。傾斜が緩くなった所の広場で休憩し、リンゴや菓子を食べてエネルギーを補給する。この先南峰までは急登が続くが、



アイゼンを効かせ快調に高度を稼いでゆく。登り切った所が南峰分岐で、わらび平からの道と合流する。ここまでくれば山頂はもう目の前で、小休止して息を整えてから山頂に向かう。南峰と山頂を結ぶ尾根を進み、最後の急坂を登り切ると浅間隠山山頂に着く。山頂には石の祠や方向指示盤があり、360度の眺望が得られる。南側に真白く雪化粧した浅間山が見えるはずだが、あいにく山頂が雲に覆われ浅間山の優美な姿は望めなかった。雲が無ければ八ヶ岳や富士

山、北アルプスの山々が見渡せるが今日は叶わなかった。風は思ったよりも強くなく、記念写真を撮ったらキーウイやかりんとう、チョコ等を食べながら展望を楽しむ。

浅間山の全容は見られないが、大まかな姿は見られたのでよしとして下山する。

下山は往路を戻り、登山口に向かって下って行く。下りもアイゼンを効かせて快調に下り、予定より早く駐車場に着いた。アイゼンを付けて歩くのは初めての方が数名いたが、皆上手に歩けるようになり「楽しかった」と喜んでいて。アイゼンを外し靴を履き替えたら車に乗り、はまゆう山荘に向かう。はまゆう山荘で温泉に浸かり、汗を流したらレストランでランチをいただく。「海軍カレーセット」と「おっ切り込みセット」をオーダーし、とても美味しくいただいた。お腹がいっぱいになったら帰路につき、途中の道の駅「くらぶち小栗の里」で野菜やパンのお買い物。さらにもう一軒『卵太郎』に寄り、シュークリームやプリンをお土産にゲットし岩舟支所に向かう。高崎市内で渋滞があったが、高速道は順調に走り予定通り岩舟支所に帰着した。後日、『卵太郎』のシュークリームやプリンはとても美味しかったとメールがあり、又機会があったら寄ってほしいとの要望が届いた。

